

富士山静岡空港特定運営事業等

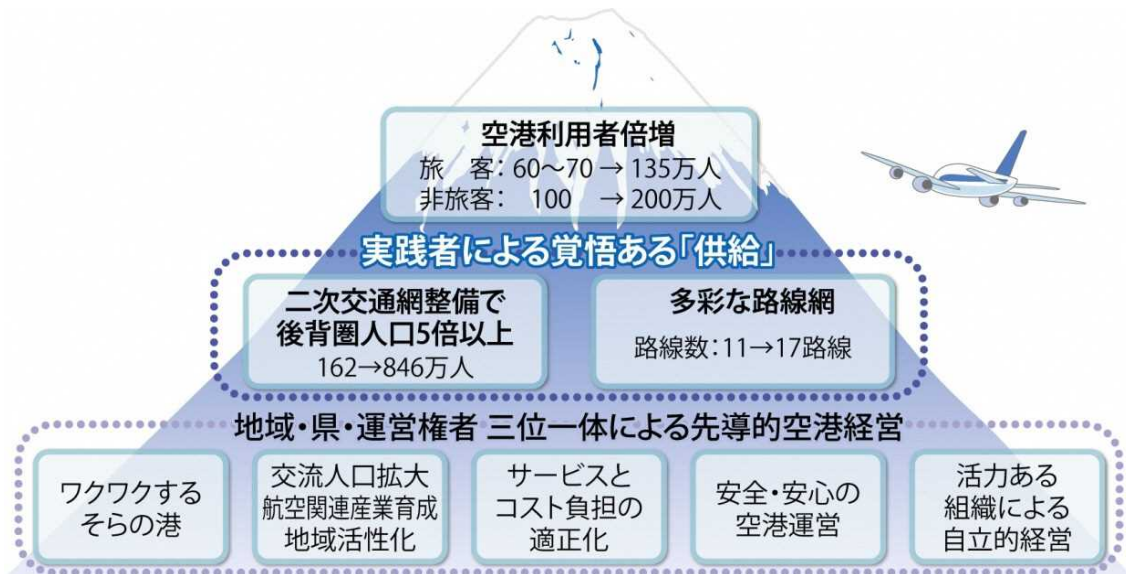
2018.4

三菱地所・東急電鉄グループ

三菱地所株式会社
東京急行電鉄株式会社

リージョナル・ランドマーク・エアポート 利用者倍増で、静岡県経済・地域を牽引するその港

将来イメージ



20年後の姿

裾野を広げます

- 充実の二次交通網で首都圏西部まで拡大したキャッチメントエリア
- ・空港アクセスバスの拡充
- ・後背圏対象エリア人口:162万人→846万人(現人口ベース)

「旅したい」に応えます

- 身近に、気軽に、県民主体のアウトバウンド需要に応える路線網
- ・航空路線数:11路線→17路線
- ・LCC比率の大幅な向上

期待以上の満足を提供します

- スムーズな旅客誘導と、ワクワク感溢れる空間で充実の時間
- ・チェックイン前の待ち時間縮小、空港内での消費拡大
- ・新機能(西側用地の段階的開発)導入で新たな利用者と賑わいの創出

地域の魅力を広げます

- 空港起点の観光商品・ルート拡充で増加した交流人口
- ・インバウンド旅客(国内・国際)数の大幅な拡大

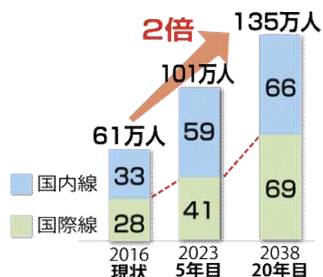
空港が自立します

- 顧客サービス向上とコスト負担の適正化で実現した自立的経営

旅客数・貨物取扱量の目標値

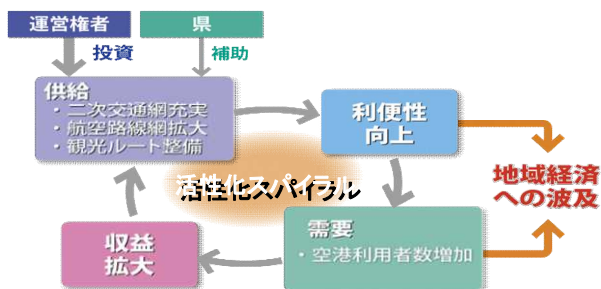
- 20年後(2038年)に旅客数135万人、貨物取扱量3,300tを達成

	2016年度	2023年度 (5年目)	2038年度 (20年目)
旅客数	61万人	101万人	135万人
国内線	33万人	59万人	66万人
国際線	28万人	41万人	69万人
貨物取扱量	609トン	1,846トン	3,264トン



活性化スパイラル

- 覚悟ある供給により需要を喚起し、収益拡大をはかることで自立的経営を実現



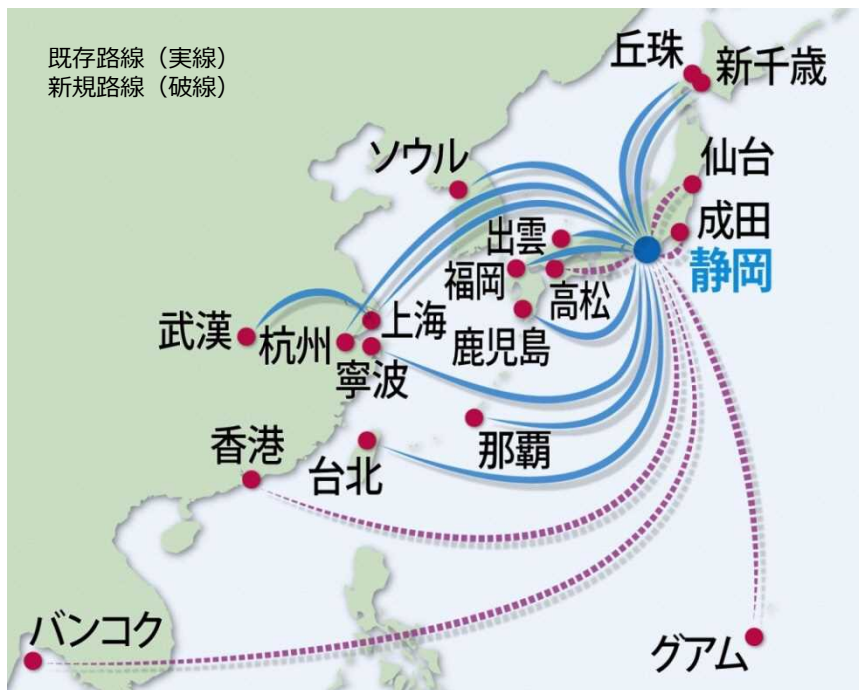
空港の将来イメージ

20年後の富士山静岡空港のイメージパース



バランスの取れた路線構成の実現

20年後の航空路線ネットワーク



旅客需要を喚起する、覚悟ある「供給」

- キャッチメントエリアにリーチする二次交通の強化
 - ・ 空港アクセスバス路線の拡大
 - ・ 航空便と空港アクセスバスのダイヤの集中・スムーズな接続
- 新規就航・長期継続に向けた課題解消
 - ・ 国際線 L C C 誘致に向けたファシリティの改善
 - ・ 中距離国際線誘致に向けたケータリング機能整備

富士山静岡空港のキャッチメントエリア (将来)



多様な路線網を安定的に実現する料金施策

- 就航路線の多様化に向けた料金施策
- エアラインの多様化に向けた料金施策
- 路線の維持・拡充に向けた料金施策

運営権者・県等関係者による一体的な航空営業体制の整備

- 就航支援・利用促進策の一本化
 - ・ 県、促進協、運営権者による一体的な企画立案
- 窓口の一本化による航空会社の業務負担低減
 - ・ 運営権者によるワンストップ窓口
- コンソーシアム構成員が運営する他空港と連携した航空営業
 - ・ 仙台・高松・下地島の各空港との一体的マーケティング



ワクワク感溢れる空間構成・演出

「ワクワク」「どきどき」が常感じられる、コト消費の提供

- 利用者属性や季節に応じたイベント開催
 - ・ 空の日イベント、ランウェイウォーク等
- 空港ならではの、静岡だからこそ体験可能なアクティビティの提供
 - ・ 富士山・南アルプス周遊フライト
 - ・ 地元食材等を販売するエアポートマルシェ
- 西側用地の段階的開発 (任意事業)

イメージバス (展望デッキ)



ビジネスジェット等の利用拡大

誘致促進に向けた一体的な営業

- 格納庫設置事業者の支援
- ラグビーW杯等スポーツメガイイベントに合わせた営業体制の構築

駐機スペースの容量拡大

- 小型機対応スポットの増設



空港利用者の利便性向上

様々な利用ニーズに応える空港発着の二次交通ネットワークの構築

- バスネットワークの構築
 - ・ 空港アクセスバスの新設や運営方法の変更による二次交通の充実
- 空港の観光拠点化
 - ・ 空港を起点とした県内主要観光地を結ぶ周遊ルート

ストレスのない空港滞在時間の提供

- ファストトラベルの実現
 - ・ 国際線用の自動チェックイン機の導入
- 旅客の増加に併せた拡張・機能改善
 - ・ 国内線・国際線搭乗待合室の拡張
 - ・ 制限エリア内での飲食サービスの提供
- 駐車場予約システムの導入

イメージパス（搭乗待合室）



観光のゲートウェイとしてのおもてなし体制の構築

- 旬な観光情報の提供
- 総合案内所の機能拡充
- ホスピタリティあふれるサービス・機能の提供
- ホスピタリティあふれる人材の育成

イメージパス（国内線到着ロビー）



確実な更新・修繕と効率的な拡張投資

品質確保を最優先とした効率的な更新投資

- 予防保全の考え方に基づく長期修繕計画の策定、マニュアル類や業者選定基準の整備、適切な予算の確保

将来需要を見据えた先行的な投資

- 機能・利便性の向上により生み出される収益を再投資する好循環を実現
- 空港運営ノウハウの活用等により効率的で効果的な投資の実施

更新投資の基本方針



地元企業・NPOとの協業、県及び市町との連携

県内観光資源への誘客

- 県内観光資源との連携による観光商品開発
- 静岡ツーリズムビューローとの連携等によるインバウンド誘客

地域の広告塔・交流拠点としての地位確立

- 県内企業やNPOの活動をPRする場としての空港の活用

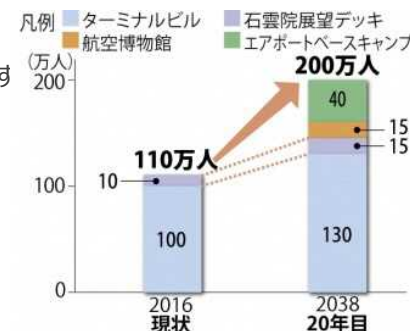
航空関連産業の育成

- 航空関連産業誘致への協力及び航空関連産業の育成支援

空港西側用地の利活用提案（任意事業）

空港西側用地の段階的開発

- アクティビティ施設等の賑わい施設（エアポートベースキャンプ）の開発により非旅客倍増を目指す
- 空港の成長に合わせた段階的開発の実施
 - ・ エアポートホテルの誘致他



※航空博物館は、県による誘致を想定

地域・県・運営権者三位一体による先導的空港経営

安全安心の空港運営

- 経営トップを中心に会社全体が一丸となった万全の安全・保安管理体制の構築
- 部門横断のセルフモニタリング委員会の設置と複層的なモニタリング体制の構築
- 多様な地域の声に対応するチャンネルの構築
 - ・ アドバイザリーボードの設置
- 現職員の知見・経験の活用と適切な労働環境の維持
- 視野の広いスペシャリストの育成と知識・ノウハウの承継

安全・保安管理体制

